

見出し	地震で心配なこと、困ること			対 策	誰 が			いつ	
					自分	地域	行政	今から	その時
津波	海上にいた時に地震が起きたら心配	土地が低いので津波が心配	会社が海の前にあるので、津波が恐ろしい	・取り合えず高い所に逃げなさい					
	津波の経験が少ない 想定外の指導の対応(ママ)	津波避難対策、避難道整備行政予算ない対応きびしい							
避難場所	避難道がなくなる(火災・倒壊)	避難場所の確保が未定?	津波発生時に避難場所が遠い	・災害用の道しるべを電柱に掲げる(記号の統一)					
	避難道が倒壊すると想定される 対処方法は					○		○	
	避難場所遠い 老人の方が多い				・特異な地域(漁村)の場合は避難場所を多く設定する				
高齢者・子どもの問題	地域内に高齢者が多いので無事避難出来るか心配です	老人が多いので避難が心配 若い人がいない	高齢化で避難が困難	・訓練毎に一人一人の避難の時間を計っている					
建造物の倒壊	地震発生時に建物の被害が想定される	公共建物の屋根を改修の際、屋上利用が出来ない	家屋の倒壊で人が埋まる	・RC造の屋上利用について、民、公の屋上を避難として確保 ・民の建物(RC造)を推定する ・公共物の耐震調査必要		○		○	
	狭い路地が多く、ブロック塀が多い				同上				
通信の途絶	子どもと離れて生活しているので、連絡が早くとれるか心配です	電気・水道等のインフラが復旧するまでの生活をどうするのか?		—					
住民の意識の向上	一度、地区において避難訓練を行ったが意識が低い	意識が低い(行政も住民も)		・災害時、ケガ人の搬出・手当等に対する、平素での訓練をすべき ・行政主導と地域自主防災組織との連携					

見出し	地震で心配なこと、困ること			対 策	誰 が			いつ		
					自分	地域	行政	今から	その時	被災後
避難道	倒壊家屋による道路が通れない	津波が発生 高台(避難場所)への避難道が心配	避難道が心配	<ul style="list-style-type: none"> 建設会社の所有する重機を活用する(借上げ費用) 隣組(組織)が大切です 避難道整備 						
	隣組助け合い組織が必要									
防災意識	一人一人の知識と意識	アパート住民の防災訓練等の参加が少ない	危機感が少ないのが心配	<ul style="list-style-type: none"> 靴と電池を枕元におく 水は重く運ぶのが大変 貸主が入居時に地区に協力を条件に入れるようにする 行政や地区・自主防災組織で地震や津波の恐ろしさをもっともっと知らす 区・自主防災組織による防災訓練(消火、炊き出し)を実施後、懇談会を開き、多数の参加を呼びかけ意識の高揚を図る 防災学習の開催 地域防災組織をもっと活用し、意識を高揚させる 						
	いざという時には混乱する地区における全員参加による反復訓練									
	150戸余りの地区ですが、最近80才を越えた老人の独り暮らしの家庭なり、避難の際は非常に大変です 近くの避難所へ避難訓練、防災訓練などをおこなっています 今月の地区だよりなどで避難方法などについて連絡しています									
津波による心配	津波で市街地がほとんど浸水する	港の奥地なので地区が津波で家が倒れ、水没する	津波が発生した場合の避難場所の指定、徹底	<ul style="list-style-type: none"> 情報をより多く提供 宿毛湾は地震発生後、22分〜くらいで津波がくると言われています 走って逃げられる可能性があります とにかく逃げろという意識 						
津波による心配(生活)	食べもの	避難後の食料等の確保	孤立化した場合の食料や水の確保	<ul style="list-style-type: none"> 職場、PTA等での学習会を行う PTAの会で勉強会をする(若い世代への啓発) 小中高には防災教育・避難訓練を徹底させる(小低学年は高学年とペアになる) 年に何度か避難路の清掃をしておくこと 国の防災予算をもっと多くするべき 保育園等、避難場所を事前に話し合っておく 						
	ケガをした人たちの治療	水道管が破損し、水が飲めなくなる	市街地がほとんど浸水するか避難場所が充分か不安							
	被災者の医療・救護態勢が充分か	100年を超えた古い家で生活している人があり心配です								
子どものこと	保育園の子どもたちが心配	学校における先生の災害に対する教育、子どもの訓練		<ul style="list-style-type: none"> 保育園等で合同訓練を行う 保幼小中の生徒の皆さんの避難訓練をする 保育、幼稚園には人員支援が必要(個人、グループ、会社など) 教育現場に防災グッズの設置 						
高齢者	近所にお年寄りが多いので心配	高齢者が多く、決められた避難場所に避難できなくなる	車イスの祖母を避難させられるかどうか心配	—						
その他	火事が心配 消火設備の設置は？	土砂崩れが発生し、川をふさいでしまう	海の関係の仕事の家族・知り合いが多いので心配							
	家族の安否	土砂崩れで県道が通行止めになり、地区が孤立する	裏山のがけ崩れが心配							
	家具の下敷きが怖い	山際のため山津波も心配である	LPガスの放出による火災発生							
	波で船が使えなくなる(丘に打ち上げられる)	宿毛のシミュレーションがみたい	ほんとうの情報は？							

見出し	地震で心配なこと、困ること			対 策	誰 が			いつ		
					自分	地域	行政	今から	その時	被災後
地震発生前	自宅での地震対策 (家の構造、非常袋 の配置)	防災訓練らしきもの が行われていない (地域で)		・防災訓練		○	○	○		
わが家	家の倒壊	家屋の倒壊	家具の補強	・家の耐震補強(診断含む)	○			○		
ケガ人	たくさんのケガ人が 出たときの分担、組 織作り(助ける)	ケガへの対応	傷病	・安否の確認 ・救急箱の配置	○	○	○		○	○
	ケガ人の搬送とそ の場所			同上	○			○		
火災	火災の発生時の消 防団との連携(指揮 における問題)	火事		—						
避難場所	避難通路に大木が あるが倒れそう 通 りにくくなる(立派な 木なので切れない)	避難場所の確保	高い所がなく、避難 場所も2階になっ ているが大丈夫か	・避難できる場所をはっきりさせておく						
	全家屋に被害が出 た場合に、一次避 難所(集会所)では 収納しきれない	避難場所がはっきり していない			○	○	○	○		
連絡 (個人情報)	家族を守る事	家族との連絡は...	家族への連絡	—						
	地域での連絡体制 (電話が使用できな い、隣りの人をよく 知らない)	対策上における個 人情報が集まりにく くなった	一人暮らしのお年 寄りに連絡ができに くい							
水・食料	食料(水、非常食確 保)	断水が心配	食料の確保	・食料・水の備蓄	○		○	○		
	衣服									
交通機能	がけ崩れ等で交通 遮断	山崩れ	液状化現象	—						
連携	救出しなければい けない人への対応	各関連機関同士の 連携(現時点ではあ まり見えない)		—						
支援	津波被災地域への 支援のあり方	津波発生時には内 陸部への支援がな くなるのでは		—						
その他	ペットをどうしたら？	災害時の資機材の 不足		—						

見出し	地震で心配なこと、困ること			対 策	誰 が			いつ		
					自分	地域	行政	今から	その時	被災後
備え！	地震後、家などを覆うブルーシートの備えを	地震に対する備えが出来ていない		<ul style="list-style-type: none"> 各地区へ出される50万円のお金では足りない もう少しお金をもらって充足させたい 保管場所がないので整備してほしい 今からブルーシートを準備・用意しておく 行政側がリーダーシップ(スタート)を！ 						
土砂災害	山崩れで家が崩壊	裏山が恐い	急傾斜で山崩れの心配	<ul style="list-style-type: none"> 急傾斜対策を早急に！ 10件以下の地区をどうするか→対策を！ 						
	道路、橋梁が通行不能	山が近い家がある土砂崩れが心配	家が山の近くなので土砂災害が心配							
	土砂災害	道路整備が充分でないので土砂崩れで交通の寸断が心配	山崩れで道が通れなくなる							
	地域(村全体)の孤立が心配である	部落が孤立する								
ケガ人対策	ケガ人が出た時、どうするか？			<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織でできる応急対策の確立 地区、地域間の関わりを蜜に！ 						
避難場所	避難場所が本当に安全か？	避難場所のトイレが不十分(不備)	避難した場所の家屋がない	<ul style="list-style-type: none"> 高台の避難場所への手摺りがほしい(避難路の整備) 						
古い家が多い	耐震が不十分な家が多い	家が古く屋根の重量があるので心配です	建物の崩壊が心配	<ul style="list-style-type: none"> 耐震診断を行ってもらおう 行政が耐震に対する情報を周知させる 悪徳業者対策 						
	古い木造住宅が多く心配									
高齢者対策	独居老人がいる	老人が多いので不安です	高齢者対策、独居老人	<ul style="list-style-type: none"> 地域で助け合うことを考えよう 個人情報等の壁をどう克服するか？ 						
	過疎、高齢化で自主防災といっても活動がむずかしい	老人を救出するのになかなか苦労する	老人世帯が多く、いざという時どうしたらよいか？							
ライフライン	水道の関係、断水	田舎であってもライフラインが都市化しており、水、電気、下水等の故障等が心配される	地震後の水、食料等の備蓄に対して、その方法、予算は？	<ul style="list-style-type: none"> 日頃からのブルーシートの準備(テント、水を溜める、毛布代わり、簡易トイレの囲いなど、いろんな利用ができれば便利である) 						
ガラス対策	各家庭とも前回の地震と違い、重い家が多い(ガラスも多用している)	窓ガラス(サッシ)の破損が逃げる時、気になる		<ul style="list-style-type: none"> 靴を用意しておく ヘルメットも 						
火事	家が潰れたとき、家族の助け方、方法は？	地震で火災が出た時の逃げ方の方法等が心配だ	家が崩れて火事の心配	<ul style="list-style-type: none"> いつも元栓を閉めておく 消火器の使い方を知ってもらおう 						
その他	堤防が破れて川の水が浸入する	S21. 12. 21の南海地震を体験しているが、電柱や塀が倒れており、走っては行けなかった		—						

